

## 公的関与が必要な森林の整備に係る事業費の試算

## 【森林の公益的機能の発揮のために必要な森林整備に係る財源規模】

区 分	区域面積 (千ha)	整備面積 (千ha)	事業費 (億円)	備考
区分ア～エの合計	118	74～83	410～480程度	
ア条件不利人工林(一般私有林)	62	62	321	市町村が森林環境譲与税の主たる活用対象として整備
イ広葉樹林(里山、ブナ林等)	37	7～14	66～127	「水源涵養保安林」や市町村森林整備計画で定める「水土保全林(水)」の区域をもとに試算
ウ集落管理人工林	10	2～4	13～23	
エ条件不利人工林(公有林等)	9	2～3	10～17	
区分イ～エの合計	56	12～21	90～160程度	

## 【鳥獣被害対策のために必要な施業に係る財源規模】

区 分	区域面積 (千ha)	整備面積 (千ha)	事業費 (億円)	備考
区分ア～エの合計	7	4	20程度	国県市町村道から100m未満の範囲内の森林を抽出し試算
うち野生獣出没地域を含む森林	4	2	10程度	R元年度における野生獣の目撃・出没情報をもとに試算

## 【譲与税以外の財源により整備が必要な森林に係る事業費】 (再掲)

区 分	事業費 (億円)	年間事業費 (億円/年)	整備期間 (年)
森林の公益的機能の発揮に係る財源	90～160程度	3～6程度	30
鳥獣被害対策に係る財源	10～20程度	0.5～2程度	10～20
合 計	100～180程度	3～6程度	30